

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	216	2年	前期	看護学科	必修	老年看護対象論 Gerontological Nursing	30	2
担当教員								
田中 昭子	森 万純							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>人生の終末期である老年期を生きる高齢者の特徴とそれらが日常生活に及ぼす影響、倫理的課題について学ぶ。講義だけではなく事前課題や演習により能動的に学習し、高齢者を理解する視点を養う。高齢者の健康レベルや生活の場に応じた予防からエンドオブライフケアにおける看護の役割を理解する。自らの高齢者観を培う基盤をつくる。</p>								
到達目標（授業目標）								
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴と加齢による変化が日常生活に及ぼす影響、倫理的課題について理解する。 ・高齢者の健康レベルや生活の場に応じた予防からエンドオブライフケアにおける看護の役割について理解する。 ・各自の高齢者観を培う。 ・課題や演習に取り組む能動的に学習することができる。 								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	<p>老いるということ（1）担当教員：田中昭子（講義） 現代の高齢者が生きてきた時代背景や生活環境</p>							
2回	<p>老いるということ（2）担当教員：田中昭子（講義） 現時点での自己の高齢者観<レポート①></p>							

3回	老いるということ（3）担当教員：田中昭子・森万純（グループワーク） 身体的老化のイメージと実際（演習）高齢者疑似体験		
4回	老いるということ（4）担当教員：田中昭子・森万純（グループワーク） 身体的老化のイメージと実際（演習）高齢者疑似体験<レポート②>		
5回	老いるということ（5）担当教員：田中昭子（グループワーク） 高齢者へのインタビュー<事前課題>結果を基に意見交換		
6回	老いるということ（6）担当教員：田中昭子（グループワーク） 高齢者へのインタビュー<事前課題>結果を基に意見交換<レポート③>		
7回	高齢者の健康と生活（1）担当教員：田中昭子（講義） 高齢者の暮らし、健康状態、生きがい		
8回	高齢者の健康と生活（2）担当教員：田中昭子（講義） 高齢者の生活の場と看護		
9回	加齢に伴う心身の変化と生活（1）担当教員：田中昭子（講義） 身体生理機能の変化・心理社会的変化の特徴とアセスメント		
10回	加齢に伴う心身の変化と生活（2）担当教員：田中昭子（講義） 加齢変化が日常生活に及ぼす影響		
11回	加齢に伴う心身の変化と生活（3）担当教員：田中昭子（講義） 介護予防、ケアマネジメント、保健医療福祉制度		
12回	加齢に伴う心身の変化と生活（4）担当教員：田中昭子（講義） 住まいの選択<事前課題・レポート④>		
13回	高齢者のエンドオブライフケア 担当教員：田中昭子（講義） 高齢者の死生観、高齢者を取り巻く死の現状と課題、 高齢者自身の意思確認と意思決定		
14回	高齢者のQOLと倫理的課題 担当教員：田中昭子（講義） エイジズム、高齢者虐待、身体拘束、権利擁護など		
15回	老年看護学の基盤 担当教員：田中昭子（講義） 老年看護学の変遷、老年看護の役割		
16回			
17回			
18回			
19回			
20回			
21回			
22回			
23回			
24回			
25回			
26回			
27回			
28回			
29回			
30回			
成績評価方法及び基準			
筆記試験50%、事前課題・レポート40%、授業への参加状況10%。トータル60点以上を合格とする。			
教科書	北川公子・井出訓・植田恵他「系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学」（最新版）（医学書院）		
参考図書等	堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり他「ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健		
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）			
事前課題は授業時間外に取り組む。（所要時間：各4時間程度） 予習・復習は各自で行う。			
関連科目			
前科目	159	臨床病態学Ⅳ	
後科目	217	老年看護学方法論	218 老年看護学実習
実務家教員			
保健師（行政機関）	田中 昭子		

看護師（医療機関）	森 万純					
備考						